



2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 株式会社ブシロード 上場取引所 東
コード番号 7803 URL <https://bushiroad.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木谷 高明
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務本部長 (氏名) 村岡 敏行 TEL 03 (4500) 4350
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の連結業績（2023年7月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	22,139	△8.1	406	△70.6	462	△69.3	13	△98.4
2023年6月期第2四半期	24,090	23.1	1,382	△18.8	1,506	△41.7	829	△54.9

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 96百万円 (△83.0%) 2023年6月期第2四半期 567百万円 (△68.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	0.19	0.19
2023年6月期第2四半期	11.79	11.39

(注) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	47,332	22,045	44.7
2023年6月期	46,335	22,399	46.6

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 21,138百万円 2023年6月期 21,585百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	-	0.00	-	4.50	4.50
2024年6月期	-	0.00	-	-	-
2024年6月期（予想）	-	-	-	4.50	4.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	4.5	2,000	△40.9	2,300	△48.9	1,234	△39.8	17.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期2Q	71,308,550株	2023年6月期	71,256,550株
② 期末自己株式数	2024年6月期2Q	441,145株	2023年6月期	27株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期2Q	71,034,780株	2023年6月期2Q	70,385,900株

(注) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算説明内容の入手方法)

本決算の開示とあわせて、決算説明会資料を開示しております。また、2024年2月13日（火）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、社会・経済活動の持ち直しの傾向が続いている一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や為替の変動に伴う国内物価の上昇など、経済の見通しは依然として先行き不透明な状況となっております。

このような環境の中、当社グループは「IPディベロッパー」戦略のもと、TCG（トレーディングカードゲーム）を柱とし、グローバル展開を引き続き推進してまいりました。2023年10月にバンコク、11月にシンガポール、12月に韓国・イルサンで「2023 BUSHIROAD EXPO ASIA」を開催、多くのユーザーとディストリビューターに会場いただきました。2024年にも14箇所以上での開催を予定しており、自社IPを積極的にグローバルへ発信してまいります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高22,139,462千円（前年同四半期比8.1%減）、営業利益406,183千円（同70.6%減）、経常利益462,212千円（同69.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益13,670千円（同98.4%減）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。なお、セグメント売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

なお、第1四半期連結会計期間より、「スポーツ&ヘルスケア事業」としていた報告セグメントの名称を、ヘルスケア事業撤退のため「スポーツ事業」に変更しております。なお、この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

1. エンターテインメント事業

①TCG（トレーディングカードゲーム）ユニット

「ヴァイスシュヴァルツ」は日本語版・英語版ともに堅調に推移しました。「カードファイト!! ヴァンガード」はアニメ新シリーズ放送前の端境期のため売上は鈍化したものの、計画に対しては堅調に推移しました。

「Shadowverse EVOLVE（シャドウバース エボルヴ）」は計画に対してはやや軟調に推移しましたが、2024年4月の2周年をターゲットに今後販促施策を展開してまいります。

②デジタルコンテンツユニット

モバイルゲームは第1四半期に引き続き低調に推移いたしました。一部タイトルのサービス終了を発表し、運営規模を徐々に縮小して収益性の改善を図りながら、ユニットのリソースをコンソールゲームに転換してまいります。

コンソールゲームではグループ会社である㈱フロントウイングラボが開発したビジュアルノベルゲーム「GINKA」など2作品を発売し、堅調に推移いたしました。2024年1月6日に開催した新春大発表会にて、来期にかけて発売予定の新作タイトルを発表いたしました。

③BI（Bushiroad International）ユニット

BIユニットはTCGユニットとデジタルコンテンツユニットに重複して属しております。

TCGにおいては、各TCGブランドとも堅調に推移いたしました。英語版TCG「ヴァイスシュヴァルツ」では、ブラスターパック「Azur Lane（アズールレーン）」などを発売いたしました。

デジタルコンテンツにおいては、日本国内同様に厳しい環境を受けて軟調に推移いたしました。

また、海外展開の強化の一環として、バンコク、シンガポール、イルサンのアジア3都市にて国際展示会「2023 BUSHIROAD EXPO ASIA」を開催いたしました。

④ライブエンタメユニット

2023年11月に有明ガーデンシアターで開催した音楽ライブ「BanG Dream! 12th☆LIVE」はPoppin' Party、MyGO!!!!、RAISE A SUILENの3バンドともに大きな盛り上がりとなり順調に推移いたしました。また、MyGO!!!!は1stアルバム「迷跡波」を11月に発売し、国内のみならず中国をはじめ海外でも注目を集めております。

また、バンドリ！プロジェクトの今後の展開として、新バンド「夢限大みゅーたいぷ」が始動いたしました。

⑤MD（マーチャンダイジング）ユニット

音楽ライブ「BanG Dream! 12th☆LIVE」の開催及びMyGO!!!!の人気拡大により、関連するライブグッズ・キャラクターグッズの販売が伸長するなど、「バンドリ！」関連の売上を中心に堅調に推移いたしました。

また、開発体制の強化を目的として、石川県金沢市に「PalVerse」などのフィギュアの開発拠点となるサテライトオフィスを2024年4月に開業することを発表いたしました。

⑥アドユニット

㈱ブシロードムーブでは、イベント運営・制作など代理店事業は大型の外部受託案件の減少によりやや苦戦したものの、声優事業においては自社他社の音楽ライブに声優事務所「響」に所属する声優が多数出演するなど稼働が活発に行われたことから、ユニット全体としては堅調に推移いたしました。

引き続き、アニメ委員会への出資・参画や自社イベント運営・制作などを通じて、グループ事業全体の規模拡大に貢献しております。

これらの結果、エンターテインメント事業は、売上高19,086,522千円（前年同四半期比8.7%減）、セグメント利益266,979千円（同80.8%減）となりました。

2. スポーツ事業

「新日本プロレス」はビッグマッチの間の端境期のため、前四半期比で売上は減少するものの、事業計画に対しては堅調に推移しました。「スターダム」では、運営体制の不備が重なり興行事業の収益性が低下し、事業計画に対しては軟調に推移しました。急拡大した団体の規模に合わせた適切な運営ができるよう、運営体制の抜本的な見直しを実施し改善を図ってまいります。

㈱ブシロードウェルビーでは、新日本プロテイン×バンドリ！×ヴァイスシュヴァルツとグループ内のIPを掛け合わせて生まれたカード付プロテインバー「Roseliaプロテインバー」の販売が堅調に推移し、今後もバンドリ！や有力IPとコラボした商品化の計画を進めております。

これらの結果、スポーツ事業は、売上高3,052,940千円（前年同四半期比3.9%減）、セグメント利益139,204千円（前年同四半期はセグメント損失9,384千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は47,332,872千円となり、前連結会計年度末に比べ997,026千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が820,756千円、投資有価証券が544,071千円増加した一方で、売掛金が760,751千円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は25,287,632千円となり、前連結会計年度末に比べ1,351,095千円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金749,695千円、長期借入金1,018,276千円、社債が1,000,000千円増加した一方で、買掛金が1,009,793千円、未払法人税等が580,345千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は22,045,239千円となり、前連結会計年度末に比べ354,068千円減少いたしました。これは主に新株予約権（ストック・オプション）の権利行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ7,800千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が13,670千円増加した一方で、配当金の支払いにより利益剰余金が320,654千円減少、自己株式の取得により自己株式が212,133千円増加したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べて1,472,772千円増加し、25,073,698千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、836,883千円となりました。主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益462,212千円及び売上債権の減少額745,124千円であり、主な支出要因は、仕入債務の減少額995,810千円及び法人税等の支払額997,406千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、164,225千円となりました。主な収入要因は、定期預金の払戻による収入778,559千円であり、主な支出要因は、固定資産の取得による支出303,950千円及び投資有価証券の取得による支出485,267千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、2,500,176千円となりました。主な収入要因は、長期借入れによる収入4,000,000千円及び社債の発行による収入1,490,807千円であり、主な支出要因は長期借入金の返済による支出2,232,029千円であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

TCGユニットでは、新作TCGのプロ野球カードゲーム「DREAM ORDER」は2024年4月に第1弾商品、6月に第2弾商品を発売いたします。前期・前々期と同様に、第4四半期が今期の売上・利益のピークとなる見通しです。

デジタルコンテンツユニットでは、モバイルゲームは、一部のゲームのサービス終了までの期間について、販売を停止した運用となることから、売上が減少する見込みです。コンソールゲームは、開発投資に係る費用が引き続き発生いたしますが、新商品の発売が伴い始めることで赤字幅は段階的に改善する見込みです。

ライブエンタメユニットでは、バンドリ！のバンド数の増加に伴い、音楽ライブの開催数も増加しております。音楽ソフト・音楽出版についても拡大に向けて取り組んでまいります。

スポーツユニットでは、新日本プロレスは、ビッグマッチである「WRESTLE KINGDOM 18」を2024年1月4日に開催いたしました。新日本プロレス・スターダムともに新しい体制のもと、ブシロードグループ全体で、組織力の強化を行ってまいります。

上期累計の各項目の対通期進捗率のうち、特に利益項目はデジタルコンテンツユニットの低調の影響により第1四半期末時点より後退し、事業計画を下回っておりますが、売上構成比率・利益率がともに高く、第4四半期の新作TCGの発売を控えたTCGユニットを中心に挽回を図ります。

これらによって、2024年6月期におけるグループ全体の売上高は51,000,000千円（前期比4.5%増）、営業利益は2,000,000千円（前期比40.9%減）、経常利益は2,300,000千円（前期比48.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,234,000千円（前期比39.8%減）と期初どおりで予想しております。

(注)業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,108,251	26,929,007
売掛金	6,336,390	5,575,639
商品及び製品	1,270,411	1,357,479
仕掛品	2,049,388	2,272,608
貯蔵品	64,895	56,933
その他	1,854,941	1,864,755
貸倒引当金	△96,009	△89,236
流動資産合計	37,588,270	37,967,187
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,116,044	1,091,064
工具、器具及び備品(純額)	121,807	114,853
車両運搬具(純額)	37,830	30,684
土地	1,027,220	1,027,220
リース資産(純額)	23,561	31,811
その他(純額)	142,130	206,018
有形固定資産合計	2,468,594	2,501,653
無形固定資産		
ソフトウェア	146,612	181,958
ソフトウェア仮勘定	28,076	27,853
のれん	1,434	928
その他	127,354	124,750
無形固定資産合計	303,477	335,491
投資その他の資産		
投資有価証券	4,144,268	4,688,340
長期貸付金	37,250	37,427
繰延税金資産	1,260,107	1,248,072
その他	550,048	575,454
貸倒引当金	△26,768	△28,784
投資その他の資産合計	5,964,906	6,520,509
固定資産合計	8,736,978	9,357,654
繰延資産		
株式交付費	10,597	8,030
繰延資産合計	10,597	8,030
資産合計	46,335,845	47,332,872

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,575,977	4,566,184
未払金	1,527,242	1,287,148
未払法人税等	1,163,973	583,627
前受金	866,699	895,015
1年内返済予定の長期借入金	4,212,493	4,962,188
1年内償還予定の社債	400,000	700,000
賞与引当金	101,390	103,862
その他	912,724	1,024,557
流動負債合計	14,760,500	14,122,583
固定負債		
長期借入金	7,476,622	8,494,898
社債	1,400,000	2,400,000
役員退職慰労引当金	89,064	75,422
退職給付に係る負債	114,833	120,883
繰延税金負債	2,541	2,541
その他	92,975	71,304
固定負債合計	9,176,036	11,165,049
負債合計	23,936,537	25,287,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,760,533	5,768,333
資本剰余金	5,697,303	5,705,103
利益剰余金	9,342,523	9,035,539
自己株式	△23	△212,157
株主資本合計	20,800,337	20,296,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△240,554	△99,711
為替換算調整勘定	1,025,224	940,971
その他の包括利益累計額合計	784,670	841,259
新株予約権	155,903	222,442
非支配株主持分	658,396	684,717
純資産合計	22,399,308	22,045,239
負債純資産合計	46,335,845	47,332,872

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	24,090,600	22,139,462
売上原価	16,224,277	14,737,625
売上総利益	7,866,323	7,401,837
販売費及び一般管理費	6,483,674	6,995,653
営業利益	1,382,648	406,183
営業外収益		
受取利息及び配当金	96,102	154,755
持分法による投資利益	22,192	18,545
助成金収入	136,322	47,072
その他	7,652	1,916
営業外収益合計	262,270	222,289
営業外費用		
支払利息及び社債利息	44,162	37,752
為替差損	73,467	109,359
社債発行費	18,306	9,192
その他	2,878	9,956
営業外費用合計	138,814	166,260
経常利益	1,506,104	462,212
税金等調整前四半期純利益	1,506,104	462,212
法人税等	705,332	422,153
四半期純利益	800,771	40,059
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△29,036	26,388
親会社株主に帰属する四半期純利益	829,808	13,670

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	800,771	40,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△99,106	140,842
為替換算調整勘定	△136,454	△79,264
持分法適用会社に対する持分相当額	2,220	△5,056
その他の包括利益合計	△233,340	56,521
四半期包括利益	567,431	96,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	596,412	70,259
非支配株主に係る四半期包括利益	△28,981	26,321

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,506,104	462,212
減価償却費	230,745	321,070
のれん償却額	506	506
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	16,757	△4,756
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△96,965	2,520
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,266	6,050
受取利息及び受取配当金	△96,102	△154,755
支払利息及び社債利息	44,162	37,752
株式報酬費用	84,495	66,539
持分法による投資損益 (△は益)	△22,192	△18,545
助成金収入	△136,412	△47,072
売上債権の増減額 (△は増加)	85,471	745,124
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△258,002	△315,239
仕入債務の増減額 (△は減少)	△598,853	△995,810
未払金の増減額 (△は減少)	△227,217	△21,554
その他	258,226	△129,036
小計	796,988	△44,995
利息及び配当金の受取額	67,165	118,119
利息の支払額	△39,889	△34,347
助成金の受取額	136,412	47,072
法人税等の支払額	△1,485,533	△997,406
法人税等の還付額	2,847	74,672
営業活動によるキャッシュ・フロー	△522,008	△836,883
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△724,174	△149,580
定期預金の払戻による収入	718,972	778,559
固定資産の取得による支出	△552,715	△303,950
投資有価証券の取得による支出	△2,064,772	△485,267
貸付けによる支出	—	△2,977
貸付金の回収による収入	2,700	2,800
その他	△30,943	△3,810
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,650,933	△164,225
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	1,062,562	—
長期借入れによる収入	4,000,000	4,000,000
長期借入金の返済による支出	△2,405,068	△2,232,029
株式の発行による収入	48,300	15,600
社債の発行による収入	1,981,693	1,490,807
社債の償還による支出	—	△200,000
配当金の支払額	△290,739	△320,867
自己株式の取得による支出	△550	△212,558
その他	△35,801	△40,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,360,396	2,500,176
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25,248	△26,294
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,162,206	1,472,772
現金及び現金同等物の期首残高	23,102,877	23,600,926
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,265,083	25,073,698

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2023年9月26日開催の取締役会決議に基づき、自己株式441,100株の取得を行いました。この結果、単元未満株式の買取りも含めて、当第2四半期連結累計期間において自己株式が212,133千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が212,157千円となっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	エンターテインメント事業	スポーツ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,914,448	3,176,152	24,090,600	—	24,090,600
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,678	112,613	134,292	△134,292	—
計	20,936,127	3,288,766	24,224,893	△134,292	24,090,600
セグメント利益又は損失(△)	1,392,033	△9,384	1,382,648	—	1,382,648

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年7月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	エンターテインメント事業	スポーツ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,086,522	3,052,940	22,139,462	—	22,139,462
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,344	92,845	105,190	△105,190	—
計	19,098,867	3,145,785	22,244,653	△105,190	22,139,462
セグメント利益	266,979	139,204	406,183	—	406,183

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「スポーツ&ヘルスケア事業」としていた報告セグメントの名称を、ヘルスケア事業撤退のため「スポーツ事業」に変更しております。なお、この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

また、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
1株当たり四半期純利益	11円79銭	0円19銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	829,808	13,670
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	829,808	13,670
普通株式の期中平均株式数(株)	70,385,900	71,034,780
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	11円39銭	0円19銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額	—	—
普通株式増加数(株)	2,468,977	593,069
(うち新株予約権)	(2,468,977)	(593,069)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。